

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成30年度 目標	平成30年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント
【第一の柱】 医療スタッフの 人材確保と育成	医師の増員	常勤医師の増員	平成27年度～	平成31年4月1日 常勤医師 76人	平成31年4月1日現在 常勤医師 71人 ※前年同期 常勤医師72人（うち、2人については、4月中に転出）	B	病院総務課		
		初期臨床研修医の受入枠の拡充	平成27年度～	初期研修医 1名以上確保	令和元年度より4人の初期臨床研修医に対し研修を開始する。	A	教育研修・病院事業管理室		
		指導医及び専門医の資格維持及び取得の支援	平成27年度～	指導医・専門医の資格取得・更新	各学会・研修会等への参加の支援を71名、延295件実施した。新たな指導医・専門医の資格取得件数は0件だった。	B	教育研修・病院事業管理室		
	医学生修学資金貸与制度の創設と活用	医学生修学資金貸与制度の創設と活用	平成27年度	新規 4名に貸与	平成30年貸与人数 継続10人、新規7人 貸与合計数17人 1年生 1人 2年生 4人 3年生 2人 4年生 3人 5年生 5人 6年生 2人	A	教育研修・病院事業管理室		
	医師の研究・技術向上の支援	医師教育研究制度を活用し 関連医局で医療技術の知識や技術の習得	平成27年度～	研究制度の活用 昨年度（21回）以上の活用	平成30年度 制度活用 延16回	B	病院総務課		
		シミュレーション機器の購入・充実	平成27年度	平成27年度整備終了	—	—	教育研修・病院事業管理室	—	—
		医師事務作業補助者（医療秘書）の増員	平成27年度～	医師事務作業補助者の増員	平成30年4月1日現在 24人 平成27年4月1日現在 18人	A	医事課		
	リクルート活動の強化	関連医局との連携強化	平成27年度～	関連大学（慶應義塾大学、浜松医科大学、東海大学、北里大学）への訪問を実施	慶應義塾大学、浜松医科大学、東海大学への訪問（延べ17回）を実施。	A	教育研修・病院事業管理室		
		幅広い人材募集・確保	平成27年度～	紹介件数 10件 採用 1名以上	10社の斡旋会社と契約締結 紹介件数 4件 平成30年度の取り組みによる採用者数（平成31年4月1日採用者数） 0件	B	教育研修・病院事業管理室		

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成30年度 目標	平成30年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント
組織の設置と医療スタッフの育成	医療の質の向上と医療スタッフの育成による院内活性化	平成27年4月に設置した「教育研修・病院事業管理室」を中心に、医療情報収集や分析、院内臨床指標の作成や公開、院内研修等の企画実施の作成を行っていく。	平成27年度～	医療情報収集や分析 院内臨床指標の作成や公開 院内研修等の企画実施	・医療情報の取集・分析 DPCデータや市内公的病院の患者数等の分析を四半期毎に実施している。 ・臨床指標の作成公開 平成29年度分は、平成31年3月に公開した。 ・院内研修 BLS（一次救命処置）、NCPR（新生児蘇生法）を毎月実施した。 ・その他 eラーニングを利用し、医療技術や臨床手技について質の高い医療を目指した育成を実施。	A	教育研修・病院事業管理室		
女性医師・看護師等の就労支援と離職防止	院内保育所の機能充実策の検討	女性医師や看護師等が働きやすい環境の改善を図るため、院内保育所の夜間保育拡充等の機能充実策を検討する。	平成27年度～	院内保育所の保育内容（保育時間・受入体制）の充実	平成30年10月1日から保育時間を18：15まで30分延長した。	B	病院総務課		
	職場環境改善に関するアンケートの実施	看護職員に対して職場環境改善に関するアンケートを、退職予定者には退職理由のアンケートを行い、現状把握をしたうえで、勤務体制や処遇改善等の離職防止改善策を検討し、離職率を抑える。	平成27年度～	・アンケート調査結果（休暇の取得、上司との人間関係）を踏まえて、職場環境の改善を実施する ・離職率10%以下	有給休暇の取得促進及びヒアリングを実施した結果、離職率は6.5%となる。	A	看護部 教育研修・病院事業管理室		
	離職した看護師への声かけ	離職した看護師に対し積極的に声かけをおこない、再就職を促すとともに、勤務時間の自由がきくパート看護師の確保を進めていく。	平成27年度～	離職した看護師への働きかけの拡充	県看護協会主催の合同就職相談会に参加し、再就職の啓発活動を行った。	B	看護部 教育研修・病院事業管理室		
	看護職員の負担軽減	看護職員の負担軽減のために、看護補助員の業務を明確化するとともに、継続的に増員を図る。	平成27年度～	看護補助員の必要数確保	ハローワークへの求人登録、当院HPへの募集掲載を通年実施。また求人情報誌への募集掲載も実施した。 H31. 3月31日現在 44名 (H31. 3/31退職4名) H31. 4月1日現在 40名	B	病院総務課		
	看護師や助産師の確保と育成	清水看護専門学校の学生の実習を積極的に受け入れる。	平成29年度～	看護学生臨地実習の受入れ	1年生：41人 2年生：41人 3年生：37人 各学年の臨地実習を実施した。	A	看護部 教育研修・病院事業管理室		
病棟薬剤師の配置	病棟薬剤師の配置	薬物療法の高度化が進み、医療の質の向上や医療安全の観点から病棟薬剤師の配置が必要となっている。入院患者への服薬指導や処方薬管理の充実を図り、副作用発見、服薬に関連した事故防止、医師・看護師の負担軽減のために、各フロア1名の病棟薬剤師を配置を目指していく。	平成27年度～	病棟薬剤師5人の配置 薬剤師数（目標） H27. 4. 1現在 19人 H31. 4. 1現在 25人	平成31年4月1日現在 薬剤師数 26人（1人医療安全管理室配属） 平成31年4月より病棟薬剤師を配置	A	病院総務課		
リハビリテーションスタッフの増員	リハビリテーションスタッフの増員	平成27年4月に、回復期リハビリテーション病棟の機能強化、急性期リハビリテーションの拡充、及び地域包括ケア病棟の設置に必要なリハビリテーションスタッフを確保していく。	平成27年度～	計画に基づくリハビリスタッフの増員（目標）（3名）	平成30年度の採用試験にて平成31年4月1日付けで3名を採用（理学療法士1名、作業療法士2名） （各年4.1時点職員数） H27 H28 H29 H30 R 1 PT 13 15 16 17 18 OT 8 9 9 9 11 ST 5 5 6 7 7 計 26 29 31 33 36 ※令和2年4月1日付けで3名の採用を予定（PT 1人、OT 1人、ST 1人）	A	病院総務課		

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成30年度 目標	平成30年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント
	研修の充実	研修の充実	平成27年度～	研修会への参加、学会発表の支援	各学会での症例発表を行う場合のポスター作製などの準備及び旅費、参加費等のサポートを実施。 平成30年度の学会発表件数295件	A	教育研修・病院事業管理室		
		認定看護師や認定薬剤師等スペシャリストの資格取得及び育成の支援	平成27年度～	認定看護師・認定薬剤師の資格取得 1名以上	7月に認定看護師資格取得 1名 (救急看護認定看護師) 来年度の資格取得を目指し、9月から看護師1名を認定看護師教育機関に派遣中(緩和ケア)	A	教育研修・病院事業管理室 病院総務課		
		患者サービスの向上と働きやすい環境づくり	平成27年度～	接遇改善に関する意見を共有し、対応策及び改善策の実施並びに周知	・ご意見箱等においていただいたご意見をもとに、所管部署、院内委員会で改善策を検討、実施し、運営会議及び職員に院内共有メール周知実施 ・院内の患者さんに対し、院内正面玄関付近にて、ご意見の内容及び対応策の掲示 ・4月1日の新人職員研修において接遇研修を実施	A	病院総務課		
		研修体制の充実	事務職員のスキル向上のため研修体制の充実を図る。	平成29年度～	各種研修会の開催	・8月7日予算編成事務研修会を開催(7名参加) ・11月5日から9日 H30年度第1回保険診療に関する研修会「ここが変わった診療報酬」を開催(286人参加) ・3月6日 H30年度第2回保険診療に関する研修会「診療報酬ルールの再確認、診療報酬改定の振り返り」を開催(113人参加)	A	病院総務課 病院施設課 医事課	
【第二の柱】 病床機能の再編と機	急性期病床の機能強化	集中治療室の充実	平成29年度～	病床利用率 集中治療室 71.7%	病床利用率 65.3%	B	医事課		
		病診連携・病病連携の推進	平成27年度～	紹介率の向上 紹介率 57.0% 逆紹介率 87.5%	紹介率 62.4% 逆紹介率 106.6%	A	医事課 地域医療支援室		
		高度医療機器の整備	平成27年度～	医療機器等の更新・新設等	平成30年度末医療機器等の更新・新設等 合計 111件 (内訳) 新規44件、更新50件、増設17件	A	病院施設課		

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成30年度 目標	平成30年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント																					
能 の 強 化	回復期リハビリテーション病棟の機能強化	早期リハビリテーションの実施 平成27年度に病棟に設置した機能訓練室を活用し、早期リハビリテーションを実施し充実を図る。	平成29年度～	病床利用率 回復期リハビリテーション病棟 88.7%	病床利用率 回復期リハビリテーション病棟 81.5%	B	医事課																							
	リハビリテーションスタッフの増員（再掲）	今後、リハビリテーションが必要な患者の増加が見込まれ、当院のみならず他医療機関からの患者受入の需要も高まることが予想される。リハビリテーション機能の充実を図るため、リハビリテーションスタッフを増員し、リハビリテーション体制を強化する。	平成27年度～	計画に基づくリハビリスタッフの増員（目標）（3名）	平成30年度の採用試験にて平成31年4月1日付けで3名を採用（理学療法士1名、作業療法士2名） （各年4.1時点職員数） H27 H28 H29 H30 R1 PT 13 15 16 17 18 OT 8 9 9 9 11 ST 5 5 6 7 7 計 26 29 31 33 36 ※令和2年4月1日付けで3名の採用を予定（PT 1人、OT 1人、ST 1人）	A	病院総務課																							
	地域包括ケア病棟の設置と機能強化	地域包括ケア病棟の充実 他の医療機関からの転院も含め急性期後の患者受入、在宅復帰の支援、在宅患者の緊急時受入に対応できる医療体制を確保していくため、平成27年度に新設した地域包括ケア病棟の充実を図る。	平成27年度～	病床利用率 地域包括ケア病棟 83.3%	病床利用率 地域包括ケア病棟 81.4%	B	医事課																							
	在宅復帰に向けた支援	地域包括ケア病棟内に地域ケアマネージャー室を設置し、病院職員とケアマネージャーとの連絡、連携を密にし、在宅復帰に向けた支援を行う。	平成27年度～	在宅復帰率 70%	在宅復帰率 96.0%	A	医事課																							
センター化の推進	センター化の推進 平成28年10月に認知症疾患医療センターを設置。専門的・診療科横断的な医療と、患者中心の良質なチーム医療を更に進めるため、呼吸器疾患センター（仮称）、整形疾患センター（仮称）、入退院センター（仮称）の設置を目指す。	平成28年度～	平成29年度の入退院支援センターの設置にて整備終了	-	-	-	病院総務課 病院施設課 医事課 教育研修・病院事業管理室	-	-																					
【第三の柱】 地域連携の推進と安心・安全な医療の	地域連携の推進	紹介率の向上 地域医療支援病院としての機能を維持・強化し、紹介率を向上させる。 <table border="1" data-bbox="439 1270 1222 1371"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率 (%)</td> <td>55.0</td> <td>56.0</td> <td>57.0</td> <td>58.0</td> <td>59.0</td> <td>60.0</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (%)</td> <td>87.5</td> <td>87.5</td> <td>87.5</td> <td>87.5</td> <td>87.5</td> <td>87.5</td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	H31	H32	H33	紹介率 (%)	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	逆紹介率 (%)	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	平成27年度～	紹介率の向上 紹介率 57.0% 逆紹介率 87.5%	紹介率 62.4% 逆紹介率 106.6%	A	医事課 地域医療支援室		
		H28	H29	H30	H31	H32	H33																							
	紹介率 (%)	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0																							
	逆紹介率 (%)	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5																							
病診連携の推進	医師会との定期的な協議会の開催、オープンシステムの推進、地域連携パスの運用、研修会等の周知などにより、病診連携を推進する。	平成27年度～	協議会の開催（年1回） 交流会の開催（年1回）	平成30年6月25日 清水医師会 清水病院 病診連携協議会開催 平成30年7月26日 清水地区病診連携交流会開催	A	地域医療支援室																								
地域の医療機関との連携	地域の医療機関と連携を強化し、退院患者のケア情報や地域の介護・福祉施設等の状況など幅広い情報の交流に努める。	平成27年度～	関係機関との情報交換会の実施（年2回）	平成30年7月24日 第1回清水病院医療・介護・福祉連携協議会開催 平成31年1月29日 第2回清水病院医療・介護・福祉連携協議会開催（院外委員9名、院内委員等16名計25名参加）	A	地域医療支援室																								
医療ソーシャルワーカーの増員	退院支援など医療福祉相談業務を強化し、患者の在宅復帰への促進を図るため、医療ソーシャルワーカーを増員する。	平成27年度～	組織体制・人員体制の整備 平成27年4月 9名（兼務2名）	3月31日現在 医療ソーシャルワーカーは10名（兼務2名）体制。	A	病院総務課 医事課																								

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成30年度 目標	平成30年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント
提供	医療安全対策の実施	安心・安全な医療提供 院内のインシデント・アクシデントや院外からの有用な情報などを収集・分析・活用し、医療スタッフへ迅速にフィードバックすることによって、より安心・安全な医療を提供していく。	平成27年度～	定期的な医療安全管理委員会の開催	医療安全管理委員会：12回開催（月1回開催） 医療安全カンファレンス：医療安全管理室 12回開催 看護部 39回開催	A	医療安全管理室		
	患者の安全確保	患者の安全確保のために、医療スタッフ個人レベルでの事故防止、組織全体としてシステム改善に取り組んでいく。また、医療安全指針やマニュアルについて、定期的に見直しを図っていく。	平成27年度～	安全な医療のための文書集等の見直し	医療安全管理室要綱の改正を実施済 インフォームドコンセントのガイドライン及び手術部位・マーキング確認実施マニュアル・ホルマリン管理マニュアルを改訂済	A	医療安全管理室		
	医療安全に関する研修会の開催	医療安全に関する研修会を定期的に開催し、職員の医療安全に対する意識をさらに高めていく。	平成27年度～	医療安全研修会の開催	全職員対象 : 3回開催 / 3回 新人職員対象 : 9回開催 / 9回 看護師希望者 : 4回開催 / 4回 希望者 : 4回開催 / 4回	A	医療安全管理室		
院内感染防止対策の実施	院内感染防止対策の推進	様々な職種の職員で組織するチーム（ICT：感染制御チーム）で、臨床、施設設備など院内の環境チェックや感染防止対策の実施状況の確認などを行い、組織全体で情報の共有化を図り、院内感染防止対策を推進していく。	平成27年度～	委員会開催（毎月） ICTによる院内巡回（54回）	委員会 … 月1回（12回開催） 必要に応じて臨時対策会議を開催 ICT巡回 … 5チームが月1回約2部署を巡回	A	院内感染防止対策室		
	全職員を対象とした感染防止対策に関する研修会の開催	全職員を対象に、地域の医療関係者も招いて毎年研修会を開催し、院内感染防止対策の基本的考え方や最新の具体的方策について共に学び、地域全体として安全な医療を提供できるよう、院内感染の防止に努めていく。	平成27年度～	感染防止対策研修会の開催（年3回）	年3回の研修会を実施 第1回を5月に開催（257名参加） 第2回を9月に開催（196名参加） 第3回を3月に開催（289名参加） ※研修会に参加できなかった職員向けビデオ上映又は資料研修を実施	A	院内感染防止対策室		
災害拠点病院としての医療体制の充実	DMAT（災害派遣医療チーム）の登録	DMAT（災害派遣医療チーム）もう1チームの登録追加を目指す。	平成27年度～	DMAT隊員における体制強化	H30.9看護師1名を日本DMAT隊員として新たに登録した。 H30.3.31 13名（医師3、看護師7、ロジ3）	A	病院総務課		
	市民と協働での地域防災訓練の実施や市民への啓発活動の実施	市民と協働での地域防災訓練や市民への啓発活動を実施することで、発災時の自助・共助・互助の精神を養う。	平成27年度～	各種防災訓練の実施	9月2日 静岡市総合防災訓練実施 12月2日 院内防災訓練実施 ※11月に静岡市立清水病院事業継続計画（BCP）を策定し、計画に基づいた訓練を12月2日に実施 トリアージに係る市政出前講座2回実施	A	病院総務課		
患者満足度の向上	患者さんによる医療サービスに対する評価、要望の把握	患者さんによる当院の医療サービスに対する評価、要望を把握し、患者サービスの向上及び経営の改善を図る。	平成27年度～	患者満足度アンケート調査の実施 目標満足度 外来 4.00点以上 入院 4.00点以上 (5.00点満点)	外来 実施期間：平成30年11月26日～11月30日 点数：4.25点 入院 実施期間：平成30年11月26日～平成31年1月11日 点数：4.34点	A	医事課		
医療情報の発信	市民健康講座の開催	市立の公的病院として、市民を対象とした健康や疾病予防等に関する講座開催などを通じて、正しい医療情報の発信と普及を図り、市民に身近な病院を目指す。	平成27年度～	市民健康講座の開催（年3回）	第1回「身近な泌尿器科のお話」を開催（7月21日）（221名参加） 第2回「最近話題の消化管疾患」を開催（11月17日）（238名参加） 第3回「みんなで学ぼう高血圧の基礎知識」を開催（3月16日）（228名参加）	A	病院総務課 医事課		

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成30年度 目標	平成30年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント																														
【第四の柱】 病院施設の維持と機能向上	病棟の改修	施設改修による入院環境の改善 経年劣化による漏水等の事故が発生しており、病棟の給排水設備の改修が急務となっている。そのため、一病棟を休床しながら計画的に順次病棟改修を行っていく。あわせて、病棟の内装を更新し、入院環境の改善による患者サービスの向上を図る。	平成27年度～	5階2病棟の改修	平成31年2月までに5階2病棟の改修完了	A	病院施設課																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>H32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1棟改修</td> <td>2棟改修</td> <td>2棟改修</td> <td>2棟改修</td> <td>2棟改修</td> <td>1棟改修</td> </tr> </tbody> </table>	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	実施設計						1棟改修	2棟改修	2棟改修	2棟改修	2棟改修	1棟改修																			
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度																																	
	実施設計																																						
1棟改修	2棟改修	2棟改修	2棟改修	2棟改修	1棟改修																																		
病院施設の機能向上	病院施設の機能向上	病棟の改修にあわせて、施設の機能向上を図りサービスの向上を図る。 平成29年度産婦人科病棟の改修にあわせて、個室分娩（LDR）を導入する。	平成29年度～	平成29年度整備終了	—	—	病院施設課	—	—																														
施設の長寿命化	施設の長寿命化	予防保全による老朽化対策で、無停電電源装置（CVCF）・外壁・屋上防水の改修等を行い、建物の長寿命化を図る。	平成27年度～	①北棟外1棟屋上防水改修 ②No.2エレベーター改修 ③中央監視装置改修	平成30年12月に中央監視装置改修の完了。平成31年3月に北棟外1棟屋上防水改修とNo.2エレベーター改修が完了。外壁（光庭部）改修については、平成31年度から実施する。	A	病院施設課																																
	駐車場の確保と整備	第一駐車場を含めた駐車場の在り方については、今後の患者数の動向を見ながら検討していく。	平成29年度～	駐車場整備の検討	来院者の駐車場利用状況を確認している。現在のところ駐車台数は確保されており、渋滞は緩和され、周辺への影響は解消されている。	A	病院施設課																																
【第五の柱】 収支の改善	【第一の柱】「医療スタッフの人材確保と育成」による効果	常勤医師の増員（再掲） 医師が働きたいと思う環境の整備やリクルート活動の強化などにより平成33年度までに常勤医師を増員し、診療収入の増を目指す。	平成27年度～	平成31年4月1日 常勤医師 76人	平成31年4月1日現在 常勤医師 71人 ※前年同期 常勤医師72人（うち、2人については、4月中に転出）	B	病院総務課																																
		リハビリテーションスタッフの増員（再掲） 平成27年度にリハビリテーションスタッフを増員することによる診療単価の向上と、他の医療機関からの転院を含めたリハビリテーションが必要な患者の受け入れにより、病床利用率の向上を図る。	平成27年度～	計画に基づくリハビリスタッフの増員（目標）（3名）	平成30年度の採用試験にて平成31年4月1日付けで3名を採用（理学療法士1名、作業療法士2名） （各年4.1時点職員数） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P T</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>O T</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>S T</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>26</td> <td>29</td> <td>31</td> <td>33</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> ※令和2年4月1日付けで3名の採用を予定（PT 1人、OT 1人、ST 1人）		H27	H28	H29	H30	R1	P T	13	15	16	17	18	O T	8	9	9	9	11	S T	5	5	6	7	7	計	26	29	31	33	36	A	病院総務課		
		H27	H28	H29	H30	R1																																	
P T	13	15	16	17	18																																		
O T	8	9	9	9	11																																		
S T	5	5	6	7	7																																		
計	26	29	31	33	36																																		
	薬剤師の増員（再掲） 薬剤師の増員を目指し、各フロア1名の病棟薬剤師を配置していく。	平成27年度～	病棟薬剤師5人の配置 薬剤師数（目標） H27.4.1現在 19人 H31.4.1現在 25人	平成31年4月1日現在 薬剤師数 26人（1人医療安全管理室配属）	A	病院総務課																																	

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成30年度 目標	平成30年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント
【第二の柱】「病床機能の再編」による効果	病棟専従者の配置	リハビリテーションスタッフなどの病棟専従者の配置により、診療収入の増を図る。	平成27年度～	当初2名の配置であった地域包括ケア病棟のリハビリテーションスタッフを3名の増員（平成28年4月1日付）により配置完了	—	—	医事課 病院総務課	—	—
	病棟の機能分化及び連携	地域住民が地域において必要な医療を適切に受けられるよう、高度急性期から一般急性期や回復期、さらに在宅復帰を支援する病床に再編し、病棟ごとに機能分化及び連携させることで、病床を効果的に運用し、各病棟の病床利用率をあげていく。	平成27年度～	病床利用率 一般病棟(390床) 76.7% 集中治療室 71.7% 回復期リハビリ病棟 88.7% 地域包括ケア病棟 83.3%	病床利用率 一般病棟(378床) 77.4% 集中治療室 65.3% 回復期リハビリ病棟 81.5% 地域包括ケア病棟 81.4%	B	医事課		
	他の医療機関からの受入 (再掲)	他の医療機関からの急性期後の患者や在宅患者を積極的に受け入れ、患者増に繋げていく。	平成27年度～	紹介率の向上 紹介率 57.0% 逆紹介率 87.5%	紹介率 62.4% 逆紹介率 106.6%	A	医事課		
	医療機器の更新・増設 (再掲)	地域の基幹病院としての機能を強化し、地域医療ニーズに応えるために、高度医療機器を計画的に更新・増設する。MRI増設などにより、収入増に繋げていく。	平成27年度～	医療機器等の更新・新設等	平成30年度末医療機器等の更新・新設等 合計 111件 (内訳) 新規44件、更新50件、増設17件	A	病院施設課		
【第四の柱】「病院施設の維持と機能向上」による効果	病院施設の機能向上 (再掲)	産婦人科病棟の改修にあわせてLDR室を整備し、個室分娩を可能にするとともに、安心安全快適な出産を提供し患者サービスの向上を図ることで、分娩件数を増やし収益増に繋げていく。	平成29年度～	平成29年度整備終了	—	—	病院施設課	—	—
材料費の削減	実態の把握と使用ルールの徹底	材料等の破損・廃棄薬品などの実態を把握し、使用ルールの徹底によるコスト削減を図る。	平成27年度～	材料費の削減 材料費比率21.6%	平成30年度末 材料費比率24.8% (高額医薬品影響を除いた材料費率： 21.4%)	B	病院施設課		
	後発医薬品の採用の推進	後発医薬品の採用を推進し、薬品費の削減を図る。	平成27年度～	後発品置換え率80%（入院医療）	平成30年度末 後発品置換え率88.7%（入院医療）	A	病院施設課		
未収金対策の強化	収納率の向上	徴収員や徴収委託会社による滞納抑制を図るとともに、新たな収納方法を検討する。	平成27年度～	第3次行財政改革前期実施計画の収納率 (現年) 99.04% (過年) 9.16%	収納率 現年 過年 H30実績 99.44% 7.57%	A	医事課		
適正な診療報酬の請求	診療報酬算定項目の確認	診療報酬上算定可能な項目のシステムチェックや対象リストによる確認等を実施し増収を図る。	平成27年度～	保険委員会によるチェックの実施	毎月1回（各月第4火曜日）保険委員会を開催（12回）	A	医事課		
	業務に精通した職員の採用の検討	医事担当職員は高度な専門的な知識や医師との情報共有が求められるため、業務に専任可能で精通した職員の採用を検討する。	平成27年度～	専門職員の採用方針の検討	平成31年4月1日付けでは診療情報管理士の採用を行わなかった。今後の専門職員の必要性について引き続き検討する。	B	病院総務課		

収支改善目標

(1) 医療スタッフの増員目標

	H30計画	H30実績 (R1.4.1職員数)	
医師 (人)	75	71	(-)
薬剤師 (人)	25	26	(-)
リハビリテーション (人)	35	33	(3)

※右欄外括弧内の数字はR1.4.1採用者数

(2) 入院収益の目標 (病棟別)

①一般病棟

年度 指標	H30計画	H30実績
病床数	390	378
病床利用率 (%)	76.7	77.4
年間患者数	109,167	106,783
入院単価 (円)	56,800	53,095
診療収入 (千円)	6,201,000	5,669,647

②集中治療病棟

年度 指標	H30計画	H30実績
病床数	6	6
病床利用率 (%)	71.7	65.3
年間患者数	1,577	1,430
入院単価 (円)	94,000	93,134
診療収入 (千円)	148,000	133,182

③回復期リハビリテーション病棟

年度 指標	H30計画	H30実績
病床数	44	44
病床利用率 (%)	88.7	81.5
年間患者数	14,200	13,094
入院単価 (円)	35,878	28,947
診療収入 (千円)	509,000	379,040

④地域包括ケア病棟

年度 指標	H30計画	H30実績
病床数	35	35
病床利用率 (%)	83.3	81.4
年間患者数	10,600	10,396
入院単価 (円)	32,200	34,481
診療収入 (千円)	341,000	358,468

(3) 外来収益の目標

年度 指標	H30計画	H30実績
診療日数 (日)	244	244
外来患者数 (人)	195,200	178,490
外来単価 (円)	12,770	13,768
診療収入 (千円)	2,493,000	2,457,557

(4) 材料費の目標

年度 指標	H30計画	H30実績
材料費率	21.6	24.8
薬品比率	13.2	14.1
診療材料比率	8.2	10.6

(5) 紹介率・逆紹介率

年度 指標	H30計画	H30実績
紹介率 (%)	57.0	62.4
逆紹介率 (%)	87.5	106.6